

# 社協 いけのべ (住民アンケート特集号) 平成26年11月

昨年12月14日に池野辺支部が発足してまもなく1年が経過します。皆様方には、日頃より支部運営に関しましてご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

また、今回アンケートを実施したところ多くの方々にご協力をいただき改めて感謝申し上げます。

このアンケートに寄せられた多くの意見や要望を今後の支部活動に活かし、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指して活動を展開して参りますので、今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

支部長 関 和 夫

※ 回収調査票

行政区	配付数	回答数	率 (%)
36区	67	55	82.1
38区	110	81	73.6
合計	177	136	76.8

問1. 男女別回答者数

	36区		38区		合計	
男性	28	50.9%	37	45.7%	65	47.8%
女性	23	41.8%	37	45.7%	60	44.1%
不明	4	7.3%	7	8.6%	11	8.1%

○ 男性が女性よりも多い結果となりました。不明者は、アンケートに未記入

問2. 年代を教えてください。(136人)

年代	36区	38区	合計
15~29歳	0	0	0
30~39歳	0	1	1
40~49歳	7	5	12
50~59歳	15	17	32
60~64歳	8	14	22
65~74歳	14	15	29
75歳以上	7	23	30
不明	4	6	10
合計	55	81	136

○ 64歳までの方が67人(49.5%)、65歳以上の方が59人(43.4%)となりました。特に50歳代の方が32人(23.5%)と回答の多さが目立ちます。次に75歳以上の方が30人(22.1%)と高い比率となっています。

問3. 家族構成について(136人)

区分	36区		38区		合計	
一人暮らし	2	3.6%	14	17.3%	16	11.8%
夫婦のみ	11	20.0%	14	17.3%	25	18.4%
親子 (二世帯)	24	43.6%	32	39.5%	56	41.2%
親子 (三世帯)	10	18.2%	11	13.6%	21	15.4%
その他	4	7.3%	4	4.9%	8	5.8%
不明	4	7.3%	6	7.4%	10	7.4%
合計	55	100%	81	100%	136	100%

○ 親子の世帯が56.6%占めているが、特に親子(二世帯)の比率が約4割を占めております。今後も夫婦のみ世帯から高齢の一人暮らしの世帯に徐々に移行していく状況から、助け合いや活動の場を設けていくことが重要になってきます

問4. 近くに住む同居外家族や親族の状況（複数回答156）

区 分	36区		38区		合 計	
池野辺地区	23	35.4%	28	30.7%	51	32.7%
笠間市内	9	13.8%	15	18.5%	24	15.4%
隣接市町村	13	20.0%	13	14.3%	26	16.7%
茨城県内	9	13.8%	18	19.8%	27	17.3%
県 外	6	9.3%	10	11.0%	16	10.3%
不 明	5	7.7%	7	7.7%	12	7.6%
合 計	65	100%	91	100%	156	100%

○ 池野辺及び池野辺及び笠間市内に家族、親族が住んでいる方が48.1%と、約半数の方が身近な地域に家族、親族がいることがわかりました。また、隣接市町村以遠に家族、親族がいる世帯も44.3%と、「遠くの親戚より近くの他人（向こう三軒両隣）」の関係づくりが必要です。

問5. 家族の状況(介護中や障がいのある方がいる世帯の有無（回答136人）

区 分	36区		38区		合 計	
在宅介護中	3	5.5%	7	8.6%	10	7.4%
施設介護中	2	3.6%	2	2.5%	4	2.9%
何等かの障害あり	9	16.4%	10	12.3%	19	14.0%
介護・障害者なし	34	61.8%	40	49.4%	74	54.4%
不 明	7	12.7%	22	27.2%	29	21.3%
合 計	55	100%	81	100%	136	100%

○ 現状では介護や障がいのある方がおられる世帯は少ないが、高齢化の進展に伴い介護を必要とする方が増えてくることが予想されますので、日頃から地域での支え合い、助け合いの意識の向上を図る必要性があります。

問6. 隣近所、班内でのつきあいの程度（複数回答—143）

区 分	36区		38区		合 計	
隣近所で行き来	27	46.6%	38	44.7%	65	45.5%
世間話や立ち話	9	15.5%	19	22.4%	28	19.6%
あいさつ程度	18	31.0%	22	25.9%	40	30.0%
ほとんどつき合いなし	0	0	0	0	0	0
不 明	4	6.9%	6	7.0%	10	6.9%
合 計	58	100%	85	100%	143	100%

○ 約半数の方が隣近所の方と行き来しており、近所づきあいが多いことが判明しましたが、更に暖かみのあるコミュニティづくりをすすめます。

問7. これからの隣近所、班での人間関係について（複数回答—138）

区 分	36区		38区		合 計	
もっと親しくなれる	5	8.8%	9	11.1%	14	10.1%
助け合える関係	28	49.1%	43	53.1%	71	51.5%
あいさつ、立ち話程度	18	31.6%	20	24.7%	38	27.5%
お互い干渉しない関係	2	3.5%	3	3.7%	5	3.6%
不 明	4	7.0%	6	7.4%	10	7.3%
合 計	57	100%	81	100%	138	100%

○ 身近に高齢者の方が増えていることや自分が高齢になったことを想像することで、隣近所や班内でお互いが助け合える関係でありたいと願う人が多い。この想いを一人ひとりが行動に移せるような地域づくりをすすめます。

問 8. 日常生活で困っていること、また今後困るであろうという問題（複数回答 185）

区 分	36区		38区		合 計	
体の自由が利かない	20	23.8%	29	28.7%	49	26.6%
認知症の問題	17	20.3%	13	12.9%	30	16.2%
生活困窮など経済的問題	8	9.5%	12	11.9%	20	10.8%
育児や子どもの健全育成	3	3.6%	7	6.9%	10	5.4%
高齢者の日常生活	14	16.7%	12	11.9%	26	14.0%
介護の問題	15	17.7%	11	10.9%	26	14.0%
隣近所の人間関係	1	1.2%	6	5.9%	7	3.8%
不 明	6	7.2%	11	10.9%	17	9.2%
合 計	84	100%	101	100%	185	100%

○ 困っている。今後困るであろう問題の順位は、健康問題、認知症の問題、日常生活の問題、介護の問題となっています。今後の支部事業として実施できるものから取り組んでいく必要があります。

問 9. 池野辺支部内にどのような手助け・お手伝いがあれば良いか。（複数回答 175）

区 分	36区		38区		合 計	
買物やゴミ出し	4	5.3%	7	7.0%	11	6.3%
病院や外出時の送迎	20	26.7%	18	18.0%	38	21.7%
付添い介助	2	2.7%	2	2.0%	4	2.3%
日曜大工的な小補修	7	9.3%	3	3.0%	10	5.7%
食事づくり掃除、洗濯	4	5.3%	1	1.0%	5	2.8%
子どもの預かり	0	0	4	4.0%	4	2.3%
話し相手、相談相手	3	4.0%	8	8.0%	11	6.3%
声かけなど安否確認	11	14.7%	20	20.0%	31	17.7%
庭の草取り	10	13.3%	7	7.0%	17	9.8%
不 明	14	18.7%	30	30%	44	25.1%
合 計	75	100%	100	100%	175	100%

○ 高齢になった時には自分の力だけでは、対応できなくなる誰もが通る道。この道を通りやすくするために地域のみんんで支え合えることになれば、ここで暮らしていけるようになると思います。

問 10. 隣近所、班、支部内の中での助け合いに対する協力について（複数回答 139）

区 分	36区		38区		合 計	
出来る限り協力したい	15	26.3%	12	14.6%	27	19.4%
都合がつけば協力	24	42.1%	37	45.1%	61	43.9%
手助けが必要な身	2	3.5%	5	6.1%	7	5.0%
あまり協力できない	0	0	6	7.3%	6	4.3%
行政の役目であり、	3	5.3%	1	1.2%	4	2.9%
家庭の問題であり、無理	3	5.3%	1	1.2%	4	2.9%
不 明	10	17.5%	20	24.5%	30	21.6%
合 計	57	100%	82	100%	139	100%

○ 出来る限りと都合がつけばを含め63.3%、また協力できないという回答も15.1%という結果になりましたが、皆が安心できる結果であったと言えます。

○ 皆が協力し合えることで信頼感も生まれ、この地に住んで良かったと言えるようになるのではないのでしょうか。

問 11. 支部内にどのような活動の場があればいいと思いますか。（複数回答 151）

区 分	36区		38区		合 計	
自分にあった地域貢献活動	10	21.4%	8	8.9%	21	13.9%
子どもとの交流・見守	3	4.9%	3	3.3%	6	4.0%
健康づくり・介護予防	9	14.8%	22	24.6%	31	20.5%

生涯学習の場	5	8.2%	2	2.2%	7	4.6%
シルバークラブ活動	6	9.8%	9	10.0%	15	9.9%
気軽に楽しめるふれあいの場	11	18.0%	18	20.0%	29	19.2%
悩み事や心配ごと相談	3	4.9%	3	3.3%	6	4.0%
不明	11	18.0%	25	27.7%	36	23.9%
合計	61	100%	90	100%	151	100%

○ 元気で生きていくためには、身近な場所に自分にあった交流の場、活動の場があれば生活に刺激と潤いができます。健康づくり、介護予防の場を望む方が多いようです。多くの方が参加できる場をつくる必要があるのではないでしょうか。

問12. どのようなボランティア活動に参加できると思いますか。(複数回答222)

区 分	36区		38区		合計	
○高齢者への声かけ見守り	20	21.2%	27	21.1%	47	21.1%
○高齢者や障害者の外出介助	3	3.2%	3	2.3%	6	2.7%
○防犯パトロール	18	19.2%	22	17.2%	40	18.0%
○子どもと遊ぶ子育てサロン	5	5.3%	6	4.7%	11	5.0%
○電話による声かけ安否確認	10	10.6%	10	7.8%	20	9.0%
○家事援助	1	1.1%	2	1.6%	3	1.4%
○相談相手	1	1.1%	3	2.3%	4	1.8%
○高齢者サロン	6	6.4%	1	0.8%	7	3.2%
○福祉イベントの手伝い	7	7.4%	5	3.9%	12	5.4%
○災害時の手伝い	12	12.7%	24	18.8%	36	16.2%
○地域活動に興味が無い	2	2.2%	4	3.1%	6	2.7%
○不明	9	9.6%	21	16.4%	30	13.5%
合計	94	100%	128	100%	222	100%

○ 地域活動に興味が無いと不明の方が合わせて12%と残り88%の方がボランティア活動に関心があることがわかりました。アンケートをもとに具体的なボランティア活動を推進いたします。

問13. 日常生活の買い物について

1. 食料品や日用品は、どのように調達していますか。(複数回答147)

区 分	36区		38区		合計	
自分	41	68.4%	44	50.6%	85	57.8%
家族・親戚	12	20.0%	34	39.1%	46	31.3%
隣近所の方	0	0	1	1.2%	1	0.7%
その他	1	1.6%	3	3.4%	4	2.7%
不明	6	10.0%	5	5.7%	11	7.5%
合計	60	100%	87	100%	147	100%

○ 自分で買い物をする方が約6割と高い割合となっています。次に約3割の方が家族・親戚の方となり、実に9割近くが自分または家族により買い物をしている実態が明らかになりました。車社会の生活がうかがわれますが、今後高齢化に伴い運転免許の返還等により買い物に支障をきたす方の増加が予想されます。

2. 今後、買い物にどのような支援が必要と思いますか。(36区、38区)

移動販売車等・・・19人 通販・・・1人  
 バス(買い物ツアー) 2人 宅配・・・2人  
 デマンド利用・・・2人 重い物の配達 2人  
 ネットスーパー・・・3人 スーパーと契約 1人  
 店までの送迎・・・3人

※ その他のアンケートに記載してあった意見

- 1) 地域全員が地域の今後について真剣に考える時期にきている。
- 2) コミュニケーションがとれる社会の構築が必要である。
- 3) 隣近所とのつき合いが益々重要になってくる。
- 4) 買物の二面性：必要な物を買う。買い物を楽しむ